

タキカワカイギュウ発見40年記念 特別展

カイギュウの 見た夢

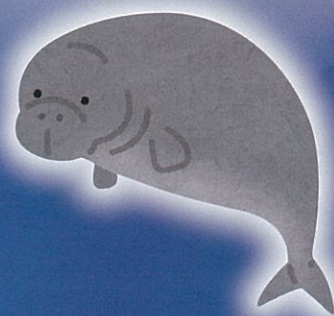
タキカワカイギュウ
発掘現場(空知川)

2020.
6.20^{sat} ~ 8.23^{sun}

滝川市美術自然史館

北海道滝川市新町2丁目5番30号
tel. 0125-23-0502

- 開館時間 / 10:00~17:00(入場は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日(8/10を除く)・8/11火曜日
- 入場料 / 一般 300円 高校生以下無料
- 主催 / 滝川市美術自然史館
- 協力 / たきかわ博物館くらぶ

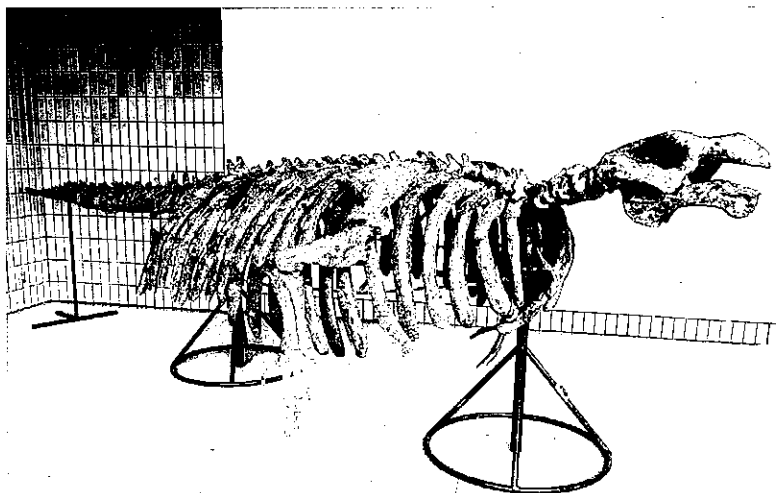


太古の眠りから覚めたタキカワカイギュウ ～発見から40年の軌跡～

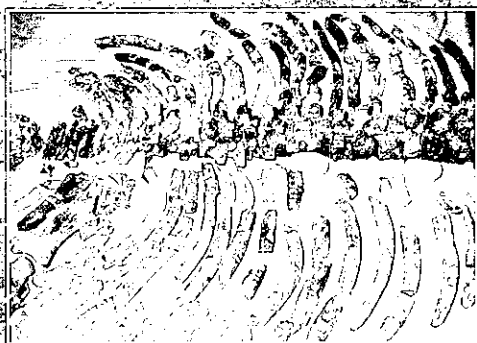
1980年に愛石家により空知川で偶然発見された化石は、大学等の研究機関ではなく、市民の手によって発掘・研究・普及がなされた北海道初のケースとなり、その後の北海道の化石発掘に大きな影響を与えました。新種であることが判明した化石は「タキカワカイギュウ」と名付けられ、化石として初めて北海道の文化財(天然記念物)に指定されました。

タキカワカイギュウに関わる各種活動は近隣の学校の先生が中心となって行われ、研究結果の発表や化石の発掘などの普及活動は当時の子どもたちに夢と希望を与えました。

本展覧会では、38年ぶりの公開となるタキカワカイギュウの全身実物化石も展示し、当時の“熱気”とタキカワカイギュウ40年の歴史を振り返ります。



タキカワカイギュウ全身復元骨格



タキカワカイギュウ全身実物化石



タキカワカイギュウ発掘現場



発掘現場で撮影された写真(1982年)

●田中三郎氏の軌跡

タキカワカイギュウの発掘に携わった人の中に、当時高校の地学教師だった田中三郎氏がいました。それをきっかけに化石の世界に魅せられた田中氏は、仲間が転勤等で活動から離れていく中、定年後も滝川に残り、滝川市や沼田町で子どもたちに化石の魅力を伝える活動を続けるとともに、道内各地で化石の発掘を続け、たくさんの貴重な化石を発見しています。本展では田中氏が活動する沼田町で発見された化石のほか、タキカワカイギュウ発掘から続く田中氏の40年のあゆみも紹介します。



シントツカワクジラ発掘現場にて。左が田中三郎氏
(1984年、新十津川教育委員会提供)

Takikawa Museum of Art & Natural History

滝川市美術自然史館

北海道滝川市新町2丁目5番30号
tel. 0125-23-0502

【交通案内】

- 徒歩 JR滝川駅から20分
- バス JR滝川駅前バス乗り場から
開発局前停留所で下車、徒歩5分
- タクシー JR滝川駅から5分

※駐車場は中央児童センター前、または文化センター駐車場をご利用ください。

